



## 短所は時には長所になる！！

日本人離れした9頭身のスタイルと、そのオリエンタルな魅力で世界のスーパートップモデルまで上り詰めた富永愛さんという人がいる。

テレビなどにもたびたび出ていたのでご存知の人も多いと思う。

モデルとしては圧倒的な武器である9頭身のスタイルだったが、幼い頃にはそれが「仇」となった。本来恵まれたはずの身長の高さはいじめの原因になってしまったのです。

富永愛さんは自らの自叙伝「A i 愛なんて大っ嫌い」で「辛い10代を過ごした」と綴っています。——（株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン2014年10月29日（水）発売）

つけられたあだ名は「宇宙人」だという。

そして周囲から数々の罵詈雑言を浴びせられるなどのいじめの体験。

荒れた反抗期の中で見つけた「モデルへの道」でしたが、ここでも有色人種、アジア人に対する偏見や人種差別があったそうです。

富永愛さんは15歳でモデルにデビューしていますが、その後は様々な偏見や人種差別に打ち勝ち世界の中のスーパートップモデルの座へと駆け上っていきました。

そのエネルギーは一体何だったのでしょうか？

本人は「いじめ」や「差別」に対する“怒り”や“復讐心”がその大きな原動力になったと言っていますが、幼かった頃いじめの原因になった高い身長や、有色人種のアジア人というマイナスの要素も、彼女はモデルの階段を駆け上っていく中で大きなプラスの要素に変えていったのだと思います。

私達の人生においても、また企業経営の中でも似たようなことは沢山あると思います。

「短所」になっていることでも、少し視点を変えて見ることで「長所」になっていくことがあります。

時には視点を変えて見ることも大切だと思います。

そして、短所をプラスのエネルギーに変えていくことが成功に結び付いていく大きな原動力になっていくということです。

そのことを富永愛さんの半生は教えてくれているのだと思います。

